

令和8年度埼玉県産農産物重点的ブランド化支援業務委託

回 答

質問項目	質問内容	回 答
ワーキング・グループの設置・運営業務	<p>・『本県の調整に応じて専門家等を起用する際の経費として、30万円程度を見込み、必要経費として計上すること。』とあり、また『WGの構成員として、当該品目を生産する産地等の関係者を参加させること。例えば、県内農業協同組合の職員や生産者団体の役員などを想定しているが、当該者の選定・調整は主として本県が行うこととする。』とありますが、埼玉県にて選定・調整される当該品目を生産する産地等の関係者の方への経費もこの30万円に含まれるもしくはこの方たちへの経費は委託金額には含まれないという理解で良いでしょうか？</p>	<p>・仕様書中『本県の調整に応じて専門家等を起用する際の経費として、30万円程度を見込み、必要経費として計上すること。』については、産地等の関係者に対する経費とは別となります。</p> <p>産地等の関係者については、先方と相談が必要となりますが、特段の経費等なく御協力いただきたいと思います。</p>
その他共通事項	<p>・『インターネットにおける情報発信については、埼玉県公式WEBサイト「SAITAMA わっしょい！」(https://www.pref.saitama.lg.jp/saitama-wassyoi/)内にWEBページを作成可能*であること。』とありますが、こちらを利用する場合、WEBページの作成はどのような段取りになりますでしょうか？こちらから素材を提供すれば可能でしょうか？それともページを作成したものを納品する形でしょうか？</p>	<p>・埼玉県公式WEBサイト「SAITAMA わっしょい！」のWEBページについては、委託事業者におけるシステム利用端末の情報などをいただき、個別にVPN接続を許可した上で、リモートアクセスにより対応いただくことが可能です。</p> <p>また、本県宛てに素材や文章等を提供いただき、担当課によりページを制作することも可能です。</p>

質問項目	質問内容	回答
今回の3品目について	<ul style="list-style-type: none"> ・今回選ばれている3品目の現状の課題をそれぞれ教えていただけますでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ以下のとおり考えておりますが、担当課でも産地等の詳細な課題は把握できておりません。本業務における産地や専門家等によるワーキング・グループの運営等を通して、当該品目や産地等の持つ特長や強み、あるいは歴史や文化的要素などを整理・分析し、ブランド化を推進することを目指しています。 <梨> <ul style="list-style-type: none"> ・本県果樹の主力品目として、埼玉県オリジナル品種「彩玉」ほか、様々な品種が栽培されている。 ・「全国梨選手権」の受賞等により、県産梨の美味しさが高く評価されているが、消費者に対して「埼玉県産の梨」や県内産地のブランドイメージはあまり定着していないものと思われる。 ・県内では多数の産地があることから、それぞれの産地の特長や歴史等を踏まえつつ、県産梨の販売促進（需要喚起）を図ったり、「彩玉」の高付加価値化などを通じて、県内産地のブランド化を推進し、収益性向上に繋げていくことが課題である。 <ぶどう> <ul style="list-style-type: none"> ・直売や観光もぎ取りを主体として県内各地で生産されているが、「埼玉県産のぶどう」に対するイメージはあまりないものと思われる。 ・現状では、詳細な課題等が把握できていないことから、生産者や関係団体等の現状や意向も踏まえ

質問項目	質問内容	回答
		<p>て、例えば直売・観光もぎ取りを生かし、観光分野と連携した取組を展開することでブランドイメージの形成に繋げるなどにより、収益性向上に繋がりたい。</p> <p><小玉すいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏に位置する立地優位性を生かし、夏場の換金作物として、直売・市場出荷の双方で広がり期待できる品目である。 ・現状では、いくつかの産地で導入が始まり、徐々に栽培が広がっている。そのため、関係団体等との調整を図りながら、導入初期の段階で、「埼玉県産のすいか」としての個性を創出し、生産動向と合わせてプロモーションを行うことで、県内農業者の所得向上に繋がりたい。
	<p>・3品目それぞれ、今後通常品 or 希少性どちらの方向性を目指すのか教えていただけますでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該品目の中でも、希少性をフックにできる品種・一般的な品種があったりするなど、品目ごとに「通常品」か「希少性」かのいずれかで方向性を確定することは困難と考えています。 <p>県としては、本業務における産地や専門家等によるワーキング・グループの運営等を通して、当該品目や産地等の持つ特長や強み、あるいは歴史や文化的要素などを整理・分析した上で、「埼玉県産の品目」としてブランド化を推進することで、広く県内農業者の所得向上に繋がることを目指しています。</p>